

令和6年度
校長だより

あかつき

11月号



～ あかつき山の麓から感謝を込めて ～



丹波市立新井小学校 校長 谷川知美

小春日和に喜びを感じる季節になりました。地域の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素から本校の学校教育活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

秋といえば…

みなさん、「学校の秋」といえば何を想像されますか？

Chat GPT（チャットジーピーティー）に聞いてみると、「①運動会、②文化祭、③校外学習、④合唱コンクール、⑤その他にハロウィンのイベント、読書、進路相談三者面談が出てきました。

「学習の秋」と出てほしかった私は予想と違うなあ…と思いながら、「学習に適した季節はいつですか」と改めて聞いてみました。すると、Chat GPT は、「秋と冬が良い」と回答した後、すべての季節においての利点を回答してくれました。学習は一年中するものという Chat GPT の考え方に基づくものですが、「一番」のみを答えるのではなく、質問内容を深めるための情報をプラスして伝えてくれるところに、人工知能がどんどん進化している実態を感じずにはいられませんでした。

Chat GPT(チャットジーピーティー)

コンピュータやスマートフォンで、質問に答えたり会話をしたりできる人工知能のひとつ。



教育は今、どうなっているの？

新井小学校が、昨年 150 周年記念を迎えたように、日本の学校制度は明治時代に公布されてから、その時代に応じた教育が進められてきました。長年、地域の方にも支えられながら、新井小学校をはじめとする学校は、子どもたちの知・徳・体を一体的に育む場として成果を上げ、子どもたちが未来を築くための力を身につける一端を担うことができた感謝しています。

そして今もまた、学校は時代に応じた変化を求められています。

下の写真は 1 年生の授業の様子です。



私は、子どもたちが一人一台のタブレットを操作して授業を受けたり、パソコンに質問を打ち込むと、人工知能が即座に返答したりする時代が来ることを、子どものころに想像することはできませんでした。

今後も科学の進歩は目覚ましいと予測します。今の子どもたちが大人になるころには…いえ、私がこれから半世紀近く生きたとするならば、とんでもない発展を目の当たりにできるかもしれません。

子どもたちにつけたい力

急速に変化し、どのように変わっていくかわからない時代を生き抜く子どもたちには、変化する社会や技術環境に適応し、自分らしく生き抜くための「生きる力」が必要です。これは、従来の暗記型や一方的な学習だけでなく、実際の体験や多様な人々との対話を通して身につけることを期待されています。

また、変化する時代だからこそ、常に学び続ける姿勢が必要になります。学ぶことを楽しみ、柔軟に対応する力は、子どもたちの生活を支える力になると考えます。

そのために！

- ① 自分で学習目標を設定する
- ② チャレンジしたことを振り返る
- ③ 方法を考え、再チャレンジする
- ④ 粘り強くやり抜く



チャレンジしては、伝え合う



紙でも、タブレットでもOK！

自由進度学習って？

前述のスキルを上げるため、新井小学校では、学期に一回程度、自由進度学習を取り入れることにしました。

自由進度学習とは、学習者が自分のペースで進められる学習方法のひとつで、学習内容や学習のスピードを、個人の理解度や習熟度に応じて調整できる学習スタイルです。子どもたちは、先生に教えられるのではなく、一人で考えたり、友だちと考えたりして学び合っています。

以前読んだ『教えない授業 美術館発、「正解のない問い」に挑む力の育てかた』（著者 鈴木有紀）に、子どもたちが思考停止に陥るときの様子が書かれていました。私は何度も失敗したなあと反省しています。皆さんも、子どもの思考を止めさせた経験がありませんか？

「先生」を「大人」に置き換えたり、身近な言葉に変更したりしています。ぜひ、

☑ してみてください。

- 考えなくても、大人が「正解」を「教えてくれる」と子どもが感じたとき
- 「大人の求めている答えがある」と子どもが感じたとき
- 子どもに考えさせる前に、大人がヒントや指示を出してしまったとき

教師からの提示のタイミングと声掛けはとても重要だと書かれていました。「（資料や話し合い等）どこからそう思うの？」

「どうしたらそうなったの？」と対話を心掛けながら、子どもたちの主体性を引き出す授業づくりをめざします。そして基礎学力の定着はもとより、チャレンジ精神や探求心、友だちと学び合う等の意欲の向上にむけ、子どもたちと一緒に取り組んでいきます。

